

墨田区(報道)

令和4年4月29日 佐藤

～子どもたちならではの目線で、すみだの魅力を発信していきます～

すみだ子どもPR大使5期生を任命しました！

区では、子どもの感性や視点を通して、墨田区の魅力を発信してもらうことで、シビックプライドの醸成を図り、地域の発展に関わる区民を増やし、自身の地域への愛着をさらに深めてもらうため、平成29年度から「すみだ子どもPR大使」を任命しており、今回で5期目となる。

本日、墨田区役所(墨田区吾妻橋1-23-20)で伝える力をみがくワークショップ『みんながスターだ。ヒーローインタビュー!』を実施し、地域のクリエイター小川道和氏、紙芝居士のちっち氏から取材のコツ等を学んだ。参加者は、区内在住の小学校3年生～6年生の児童20名(男子9名、女子11名・4期生10名、5期生10名)。インタビュアー役とヒーロー役の2人一組になり、「もし・・・になったら?」というテーマで、「作家」や「金メダリスト」など、なりたい自分を思い描いてインタビューを体験した。

そして、PR大使として初めての仕事は、恒例の山本区長へのインタビュー。子どもたちならではの目線で、「区長という仕事を選んだきっかけは?」「今ハマっているものは?」など熱心に質問を投げかけた。ワークショップに参加した子どもたちからは、「大きな声で、目を見て話すことの大切さが分かった」といった声が聞かれた。

ワークショップ終了後には、すみだ子どもPR大使5期生の任命式が行われ、修了した子どもたちに任命証の授与、記念撮影などが行われた。区長は「すみだの未来を担う子ども達が熱心に取り組んでくれて大変うれしい。これから、大人が気付かないすみだの魅力をたくさん見つけて、どんどんPRしてほしい。活動を通して、自分の暮らすまち“すみだ”に愛着や誇りを持ってもらいたい。」と激励した。5期生に任命された子どもたちは、「区長にインタビューができて嬉しかった」、「とてもやりがいがあって、これからの活動がとても楽しみ」と意気込んでいた。5期生は、先輩大使の4期生とともに、今後、「すみだまつり・こどもまつり」をはじめとした区のイベントなどに出席し、区の魅力を発信していく予定。

《写真》ワークショップ、任命式の様子



《問合せ》広報広聴担当 5608-6220

お問合せは午後6時までにお願いたします。(広報広聴担当 5608-6220)